

第134回南あわじ市議会定例会議事日程（第5号）

令和7年9月11日（木）午前10時開議

第1 一般質問

第2 議案第67号～議案第69号（3件一括上程）

議案第67号 財産の譲与について（生産物直売所丸山漁港「魚彩館」）

議案第68号 財産の譲与について（丸山漁業活性化センター）

議案第69号 損害賠償額の決定及び和解について

第3 請願第1号 子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、カリキュラム・オーバーロードの解消と2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について

一 般 質 問

(令和7年9月11日)

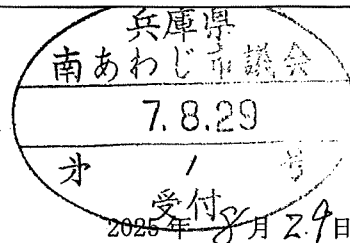
発言順	内 容	氏 名
16	1. 学校教育について 2. 農業振興施策について	土 井 巧

第134回 南あわじ市議会定例会

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第1号
受 理 年 月 日	令和7年8月29日
件 名	子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、カリキュラム・オーバーロードの解消と 2026 年度政府予算に係る意見書採択の請願について
請 願 の 要 旨	別紙写しのとおり
請願者の住所 及 び 氏 名	兵庫県南あわじ市 南あわじ教職員組合
紹 介 議 員	印部 久信
付 託 委 員 会	総務文教常任委員会

請 願 書



南あわじ市議会議長

久米 啓右 様

南あわじ教職員組合

紹介議員

印 部 久 信

子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、カリキュラム・オーバーロードの解消と 2026 年度政府予算に係る意見書採択の請願について

<請願趣旨・理由>

現状の教育課程基準に沿って設定された学校のカリキュラムは、授業の時数と内容が過度に詰め込まれているため、子どもも教職員も極めて大きな負担を強いられている状態です。このため、次期学習指導要領では内容の精選と標準授業時数の削減が強くもとめられます。

また、厳しい財政状況の中、独自財源を活用して人的措置等を実施する自治体も存在する一方で、自治体間で教育格差が生じることが深刻な問題となっています。義務教育費国庫負担制度に関しては、2006 年に国庫負担率が 2 分の 1 から 3 分の 1 に引き下げられた経緯があります。国としては、全国どこに住む子どもでも一定水準の教育を受けられることを憲法上の要請としています。

現在、学校現場では貧困、いじめ、不登校、教職員の長時間労働や未配置などといった多岐にわたる課題が山積しており、文部科学省の調査（20 年度）では小・中・高をあわせた不登校児童・生徒数が 41 万人を超え、特に小・中学校で 11 年連続増加し過去最高となっている現状があります。そのような中で、子どものゆたかな学びと育ちを保障するための十分な教材研究や授業準備の時間を確保することが困難になっています。学校の働き方改革を推進するためには、加配教員の増員や少数職種の配置改善を含む教職員定数の見直しが不可欠です。

こうした観点から、2026 年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、地方自治法第 99 条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

記

1. 子どものゆたかな学びと育ちを保障するため、授業の時数と内容が過度に詰め込まれている状態の早期改善にむけ、学習指導要領の内容の精選等をおこなうこと。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
4. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減はおこなわないこと。
5. 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランスの確保等の観点を十分に考慮し、すべての自治体で定年引き上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講じること。